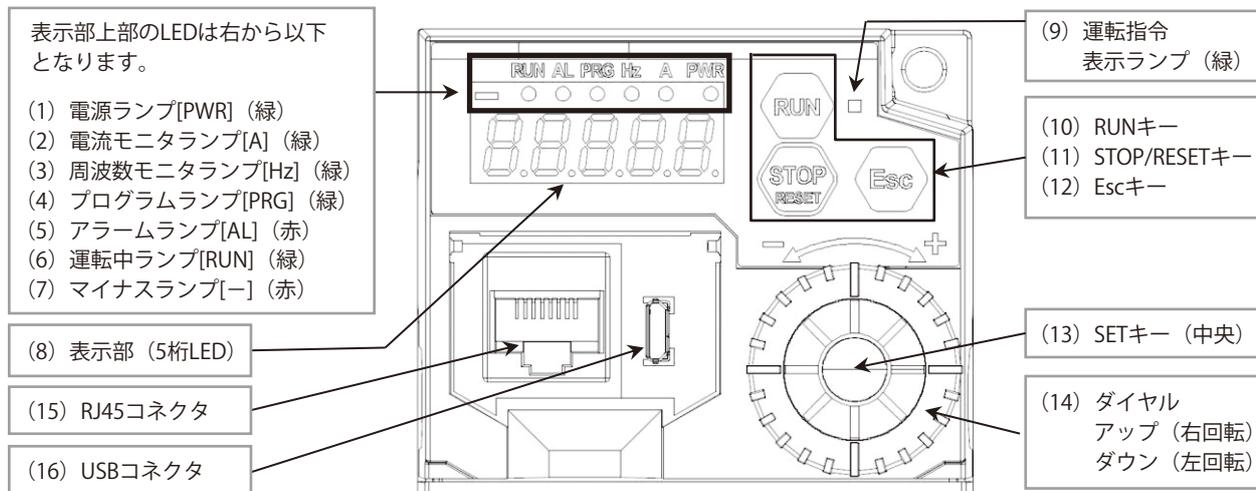


## ■操作パネルの各部の名称と内容



名称	内容
(1) 電源ランプ [PWR] (緑)	インバータの電源供給中に点灯 (緑) します。
(2) 電流モニタランプ [A] (緑)	表示部のデータが電流の時に点灯 (緑) します。
(3) 周波数モニタランプ [Hz] (緑)	表示部のデータが周波数の時に点灯 (緑) します。
(4) プログラムランプ [PRG] (緑)	表示部が変更可能なデータ (設定値) を表示している時に点灯 (緑) します。設定値に不整合がある場合は点滅します。
(5) アラームランプ [AL] (赤)	インバータがトリップした時に点灯 (赤) します。
(6) 運転中ランプ [RUN] (緑)	インバータが運転中の時に点灯 (緑) します。 ( [運転指令あり] と [インバータ出力中] ) の OR 条件で点灯するので、設定周波数が 0 Hz で運転指令を入れた場合や、運転指令 OFF 後の減速中も点灯します。 )
(7) マイナスランプ [-] (赤)	表示部のデータが負の値の時に点灯 (赤) します。
(8) 表示部 (5桁 LED)	各種パラメータや周波数設定値などのデータを表示 (赤) します。
(9) 運転指令表示ランプ (緑)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転指令先が「操作パネル」の時に点灯 (緑) します。 (操作パネルの RUN キーが有効な状態。)</li> <li>・運転指令先が操作パネルの RUN キーの場合でも、何らかの機能により運転ができない状態で RUN キーを押すと、本ランプが点滅します。</li> </ul>
(10) RUN キー	インバータの運転を行います。運転指令先が「操作パネル」の時に有効です。運転方向は、「RUN キー運転方向選択 [AA-12]」で設定します。
(11) STOP/RESET キー	インバータを減速停止させます。「STOP キー選択 [AA-13]」で、本キーによる運転停止の有効 / 無効の切り替えが可能です。インバータがトリップ中の場合はリセット (トリップ状態から復帰) します。
(12) Esc キー	パラメータ表示の場合、次のパラメータグループに移行し、グループ毎の最後に設定したパラメータを表示します。電源遮断後も最後に設定したパラメータの記憶は維持されます。データ表示時は、設定をキャンセルしてパラメータ表示に戻ります。表示画面に関わらず、長押し (約 3 秒) すると「出力周波数モニタ [dA-01]」のデータ (出力周波数) を表示します。リモートオペレータが接続されている場合に、本体 Esc キー長押し (1 秒以上) により本体の操作パネルによる操作が有効になります。再度 Esc キー長押しでリモートオペレータに操作に戻ります。
(13) SET キー	パラメータ表示時は、データ表示に移動します。データ表示時は、設定を決定、記憶してパラメータ表示に戻ります。また、最後に SET キーを押したパラメータを記憶して、電源投入時にそのパラメータを表示することができます。パラメータグループ毎で、最後に設定したパラメータは記憶され、Esc キーによるパラメータグループ移動時の最初の表示パラメータとなります。
(14) ダイヤル	パラメータの変更や設定データの増加 / 減少を行います。右回転で増加、左回転で減少となります。ダイヤルを回すスピードに対する、パラメータや設定データの、増減と桁上げの度合は「ダイヤル感度 [UA-76]」および「ダイヤル桁上げ感度 [UA-77]」で設定できます。
(15) RJ45 コネクタ	オプションのリモートオペレータ接続用コネクタです (RS-422 専用)。リモートオペレータを接続すると本体のキーが効かなくなります。この時の (8) 表示部に表示するデータは、「オペレータ接続時本体表示 [UA-95]」で設定します。
(16) USB コネクタ	パソコン接続用コネクタ (USB 2.0 Micro-B コネクタ) です。パソコン通信ソフトウェア (SASF001) との接続時に使用します。

